

令和4年度 瑞浪市防災会議議事録

開催日時:令和4年9月2日(金) 10時30分～11時45分

開催場所:瑞浪市保健センター 3階大会議室

出席者:21名

代理出席:3名(西日本電信電話株式会社岐阜支店災害対策室長、多治見警察署長、
陶都信用農業協同組合長)

欠席者:6名(国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所長、東海旅客鉄道
株式会社瑞浪駅長、土岐医師会長、瑞浪管工事組合長、瑞浪郵便局長、
瑞浪市民生委員・児童委員)

事務局:5名(小木曾まちづくり推進部長、生活安全課:工藤課長、高橋課長補佐、
防災安全推進係安江、石原)

議 事:瑞浪市地域防災計画の修正(案)について…資料事前配布

報告事項

- ① 令和3年度防災訓練の実施結果について 資料1
- ② 防災資機材備蓄・避難所研修会について 資料2
- ③ 職員災害対応訓練について 資料3
- ④ 必需物資の確保対策・災害時支援協定について 資料4

次第・発言者	内 容
<p>開会 事務局：小木曾部長</p> <p>会議の公開等について 事務局：小木曾部長</p> <p>資料の確認 事務局：小木曾部長</p>	<p>皆様、本日は大変お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より令和4年度瑞浪市防災会議を開会いたします。私は、まちづくり推進部長の小木曾と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>会議に入ります前に、会議の公開と会議録の作成につきまして、予め皆様にご了承をお願いいたします。</p> <p>本会議は、公開の対象となりますので、傍聴席を設けております。</p> <p>また、会議録作成のために本会議を録音させていただくことと、作成した会議録につきましては、本市のホームページで公開をいたしますので、併せてご承知おきいただきますよう、お願ひいたします。</p> <p>引き続き、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にお配りさせていただきました資料につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 「《令和4年度》瑞浪市地域防災計画修正要旨」 「《令和4年度》瑞浪市地域防災計画新旧対照表」 「別紙第1～12」及び 「資料1 令和3年度防災訓練の実施結果について」 「資料2 防災資機材備蓄・避難所研修会について」 「資料3 職員災害対応訓練について」 「資料4 必需物資の確保対策・災害時支援協定について」 <p>でございます。</p> <p>また、本日、お席にお配りさせていただいております資料ですが、上から順に</p> <ul style="list-style-type: none"> 「令和4年度 瑞浪市防災会議次第」 「瑞浪市防災会議委員名簿」 「瑞浪市防災会議条例」 <p>でございます。</p> <p>お手元の資料に不足などがございましたら、事務局までお申しつけください。よろしいでしょうか。</p> <p>では、進めさせていただきます。</p> <p>この防災会議委員につきましては、お配りさせていただいております委員名簿のとおり、市長のほか、29名の皆様に委員をお願いさせていただいております。</p> <p>本会議の会長でございますが、瑞浪市防災会議条例第3条第2項、「会長は、市長をもって充てる」の規定に基づき、水野市長が会長となるものでございます。</p> <p>それではここで、会長である瑞浪市長 水野光二より、ご挨拶を申し上げます。</p>

<p>会長（市長）挨拶</p> <p>委員紹介 事務局：小木曾部長</p> <p>事務局：工藤</p> <p>事務局紹介 事務局：小木曾部長</p> <p>成立報告 事務局：小木曾部長</p> <p>議長の指名 事務局：小木曾部長</p>	<p>（会長挨拶）</p> <p>続きまして、委員の皆様方のご紹介でございますが、お手元の委員名簿をごらんください。本来なら（顔の見える関係を築くため）マイクを回しながら自己紹介をお願いしているところでございますが、新型コロナウイルス感染防止対策としまして、事務局にて、名簿順に所属、お名前を紹介させていただきますので、その場にて一礼のみお願いいたします。</p> <p>なお、名簿番号「2番：多治見砂防国道事務所長 加藤仁志様、9番：JR 東海瑞浪駅長 水野泰昌様、17番：土岐医師会会長 勝股真人（まひと）様、23番：瑞浪管工事組合長 高田博彦様、25番：瑞浪郵便局長 深津隆雄様、29番：民生委員・児童委員 板垣真裕美様」につきましては、欠席の連絡をいただいております。</p> <p>それでは、名簿順に所属、お名前を紹介させていただきます。（名簿順に所属、名前を読み上げる）</p> <p>続きまして、事務局を紹介させていただきます。こちらから、生活安全課長の工藤、課長補佐の高橋、防災担当の安江、石原でございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議の成立につきましては、瑞浪市防災会議条例第5条第2項の規定に「過半数の出席」とございます。委員総数30名中、出席者は過半数を超えておりますので、本会議が成立したことを、ここに、ご報告いたします。</p> <p>それでは、ここで議事進行に伴い、議長の指名に移ります。瑞浪市防災会議条例第5条第1項の規定により、会長が議長を務めるとされておりますので、会長である水野市長に議長の職をお願いいたします。水野会長、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>※議事 議長（市長）</p>	<p>それでは、瑞浪市防災会議条例の規定に基づきまして、会議の進行を努めさせていただきます。早速ですが、ただ今から、議事に入らせていただきます。</p> <p>「4 議事 『令和4年度瑞浪市地域防災計画の修正（案）』について」</p> <p>事務局、説明をお願いします。</p>

事務局：工藤	(地域防災計画修正案 内容説明)
議長（市長）	<p>ただ今、説明のありました「瑞浪市地域防災計画の修正(案)」につきまして、お気づきの点、ご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。</p>
瑞浪市消防団長 西尾委員	<p>新旧対照表13ページ「第3節 都市の防災性の向上 第1項 災害に強いまちの形成」に新規に追記された内容で、「瑞浪市は、まちの災害特性に配慮した土地利用の誘導、開発抑制、移転の促進や避難に必要な施設の整備に加え、自然環境の機能を活用すること等により地域のレジリエンスを高める「Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）」及び「グリーンインフラ」の取組の推進など、総合的な防災・減災対策を講じることにより、災害に強いまちの形成を図ります。」とある。「レジリエンス」、「Eco-DRR」、「グリーンインフラ」など、初めて聞く用語であり、自然環境を活用していくというイメージは想像できるが、いったい、どのような活動になるのか、具体的に説明をお願いしたい。</p>
事務局：工藤	<p>具体的な施策については、現段階では、未だご説明できませんが、用語の意義についてご説明申し上げます。</p> <p>「レジリエンス」とは、強靱性、回復力、しなやかさという意味です。「Eco-DRR」とは、「Ecosystem-based Disaster Risk Reduction」の略で、「生態系と生態系サービスを維持することで危険な自然現象に対する緩衝帯・緩衝材として用いるとともに、食糧や水の供給などの機能により、人間や地域社会の自然災害への対応を支える対策」のことです。次に「グリーンインフラ」とは、「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める」ことです。</p> <p>このことについて、今後、国・県より、具体的な施策について、示されましたら、本市も対応してまいります。</p>
議長（市長）	<p>それでは、他にご意見、ご質問等も無いようですので、お諮りします。</p> <p>「瑞浪市地域防災計画の修正(案)」につきまして、原案どおりご承認いただける方は、「拍手」をお願いします。</p> <p>拍手多数で、原案どおり承認されました。</p>

議長（市長）	<p>なお、この修正（案）につきまして、まだ、ご理解・ご確認されていない部分もあるかと思しますので、資料をお持ち帰り頂き、改めて、ご意見などを頂ければ幸いです。</p>
<p>※報告事項 議長（市長）</p> <p>事務局：高橋</p> <p>議長（市長）</p> <p>小里川ダム管理支所 長 神村委員</p>	<p>続きまして「5 報告事項」でございます。</p> <p>資料1の「令和3年度防災訓練の実施結果について」から資料4の「必需物資の確保対策・災害時支援協定について」を事務局より一括して報告願います。</p> <p>（配布資料を基に内容説明）</p> <p>報告事項につきまして、ご質問、ご意見などございますか。</p> <p>資料4「必需物資の確保対策・災害時支援協定について」にありましたように、本市では、関係機関・団体様等と各種支援協定を締結させて頂き、万が一の災害に備えております。</p> <p>これに関連して、瑞浪市建設業協会様からは、ここ数年に渡り、特に小さいお子さんのために役立てて頂きたいと、幼稚園に対して避難用のヘルメットやテントなど、防災の各種資器材を寄附して頂いております。この場で紹介させて頂きますとともに、改めて瑞浪市建設業協会様に感謝申し上げます。</p> <p>報告事項（「資料1」と「資料4」）にありました内容について、また、これと関連する事項を含めまして、若干説明いたします。</p> <p>まず、8月3日からの東北地方での豪雨災害について、国土交通省では、被災地に対し、全国からTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣して、様々な対応を行っているところです。中部地方整備局からも、排水ポンプ車及び照明車を各5台派遣し、山形県川西町において、被災状況調査等の活動をいたしました。このように国交省では、災害時に全国から技術者等を派遣して、被災地の復旧・復興活動を行っています。</p> <p>資料1にありました「マイタイムライン『災害・避難カード』作成ワークショップ（机上型訓練）訓練」について、これは、当支所が令和2年5月に公表した「小里川（ダム下流）浸水想定図」と瑞浪市の土砂災害ハザードマップを活用して行った机上訓練です。</p> <p>平成30年7月豪雨（西日本豪雨）では、千年に1度と言われるような降雨がありました。その後毎年のように、全国各地において大水害が発生しています。</p>

そのような状況を受け、「小里川（ダム下流）浸水想定図」は、小里川流域において、年間総雨量の約半分が一気に集中して降った場合を想定して、シミュレーションした結果、残念ながら、ダム下流域住民の方の大切な命や財産をお守りすることができないということを公表させていただいたものです。

このような状況が生起することを想定して、当支所・瑞浪市が発信する情報をもとに、住民の皆さんにどのような行動をとってもらうかということをお知らせするものです。みずなみ防災会の皆様にはご支援を頂き有難うございました。

当支所は、今後もこの机上訓練に関わってまいります。引き続き宜しくお願いします。

また、資料4「必需物資の確保対策・災害時支援協定について」を報告して頂きましたが、当支所では、昨年8月4日、災害時に小里川ダム周辺の土地において発生した瓦礫の処理について、法の性格上事前協定は締結しておりませんが、協力させていただくよう調整いたしました。

小里川ダムは、昭和47年7月の豪雨災害を機に建設が始められた施設です。昨年8月13日から15日にかけての大雨では、この47水害の時以上の降水量がありましたが、ダムの機能により洪水の発生を食い止めることができました。

来年度は、小里川ダム完成から、20周年を迎える節目の年となります。今後も地域防災のため、いろいろな形で貢献してまいります。

議長（市長）

小里川ダムの建設にあたっては、当時いろいろな意見がありました。「コンクリートから人へ」というスローガンを掲げた頃もあった。しかし、今や小里川ダムの有用性を身に染みて感ずるところです。小里川ダムができるまで、毎年のように溢水し、水害にあった和合地区も、小里川ダムが完成し、和合狭窄部の開削などの大規模な河川改修が県により行われた結果、ここ20年、溢水被害もなくなっているのが事実です。このようなハードの整備は、大きな予算を要しますが、やはり必要であると思います。

昨年7月、8月の大雨では、水位が急上昇し、市は、夜半に災害対策本部を設置し、被害情報の把握に努めました。明德橋のカメラ映像を見ると、みるみる水位が急上昇し、黄色の警戒水位を超え、赤色の危険水位に達して、溢水するのではないかと思われました。直ちに市内広域にわたって避難指示を発令すべきかどうかの判断に迫られました。これが午前2時45分頃で、午前3時まで15分状況を見ると決心して、注視したところ、水位が下がり始めましたので、避難情報は発令しませんでした。これも小里川ダムによる洪水調節機能の効果の賜物であると思いますし、併せて、県（多治見土木事務所）は、ここ数年にわたり、土岐川の浚渫工事を行っています。今年もやって頂いており、特に文化センター前の浚渫を行って頂きました。

	<p>土岐川に長年にわたり堆積した土砂・土石、草木を県の方で浚渫して頂いたことにより、水害も発生しなかったのです。</p> <p>このように、本日、ご参集の委員の皆様それぞれの立場でのご協力を頂き、我々の総合力で災害に立ち向うことが大事であると改めて感じております。</p>
<p>※その他 議長（市長）</p>	<p>その他には、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和4年度 瑞浪市防災会議を閉会とさせていただきます。皆様におかれましては大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。</p>
<p>事務局：小木曾部長</p>	<p>事務局よりお知らせいたします。</p> <p>本日お持ちいただきました、赤色の「瑞浪市地域防災計画」につきましては、事務局でお預かりさせていただき、後日、差し替え後にお届けいたしますので、自席に残したままお帰りいただきますよう、お願いいたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>